

診断京都

No. 147

2024 AUTUMN

<https://www.shindan-kyoto.com>



醍醐寺 弁天堂

- 02 会員のチーム力と、一人一人の強みを生かして
- 03 診断士の私の仕事
- 04 京の起業家
- 06 ねえねえ教えて！支援機関さん！
- 07 協会事業活動紹介
- 08 研究会紹介
- 09 5RULES
- 10 協会活動報告
- 11 はんなり診断士
- 12 My favorite・京都検定

会員のチーム力と、一人一人の強みを生かして

会員の皆様、いつもお世話になっております。

今日は8月15日、この原稿を帰省先の綾部で書いております。京都の本日の最高気温は36.8℃とニュースで報じられていました。うだるような暑さです。会報が皆様のお手元に届くであろう10月には、秋を感じる事ができればと祈るばかりです。

気象庁のデータを調べてみると、京都の1980年8月の平均気温は25.6℃、昨年2023年8月は30.3℃とありました。5℃近く上昇しています。子どもの頃は、扇風機で十分過ごしていたなという肌感覚はまさしく正解でした。

また、私が子どものころは、お盆には実家の近所で盆踊り大会が開催され、とても楽しく賑やかだった記憶があります。綾部市のHPによると1980年の人口は42,552人、老年人口割合（人口に占める65歳以上の割合）は16.1%でした。2024年8月1日時点では人口30,120人、老年人口割合は39.0%となっております。近所がおばあちゃんばかりになったなという肌感覚もまさしく正解でした。

私にとって肌感覚で実感している環境変化は、地球温暖化と地方の人口減少ですが、様々な分野、視点での外部環境がこの40年～50年で激変しています。

10年ほど前に雑誌で読んだ、ハーバードのプラドレー教授の原稿を今もファイルに保存しています。利益の源泉（会社が儲かる理由）を分析したレポートです。教授の調査によると「利益の源泉の46%がマクロ経済環境や人口の変化などの外部要因であり、54%が理念やビジョンや戦略、人材などの内部要因」とありました。

経営をとりまく外部環境はコントロールできませんが、内部環境は経営者がコントロールできます。利益源泉の約半分は自らの努力によって何とかできるというのは、厳しい環境下においての励みになります。

中小企業を取りまく外部環境は、これまで以上に大きく変化していくでしょう。京都診断協会の会員のチーム力を発揮して、また、一人一人の強みを生かして、経営者を支え、地域経済に貢献できるように皆で頑張っていきましょう！引き続きよろしく願います。



副会長
四方 浩人

～企業の未来を共に創る～

診断士が実践する財務・会計支援の歩み

グッドループコンサルティング代表。2018年中小企業診断士登録。同志社大学商学部を卒業後、総合印刷会社、繊維専門商社、婦人アパレルメーカー（卸・小売）勤務を経て、2020年に独立開業。



1 専門分野とコンサルティングの強み

得意分野は財務と会計です。独立前の3社での経理部門の業務を通じて、日常の請求・支払処理に始まり、給与計算、固定資産や在庫の管理、会計処理、試算表の作成から税務申告に至る会計・税務に関すること、予算(損益・資金繰り)の作成から実績との差異分析といった管理会計に関する経験があるためこの強みを活かして、会社の数字を見える化し、この数字を根拠に社長や社員の方と共に改善策を考え実行するというコンサルティングをしています。

最近かかわらせていただいた仕事のなかで特に印象に残っているのは、事業再構築補助金の計画作成サポートをきっかけに継続的に支援をさせていただいている企業様で、社員の方向けに「会社のお金の勉強会」をさせていただいたことです。昨今は「賃上げ！賃上げ！」の大号令のもと中小企業にも賃上げの波が押し寄せていますが、サラリーマン経験の長い私を感じているのは、いくら賃上げを社長に求めても原資となる利益がなければ実現は不可能、ということ。もちろん会社の方向性や戦略を決める責任があるのは社長ですが、社員の方にも自分達の給料は自分達で稼ぐという意識が必要であるため、会社の収益構造の仕組みを理解していただくための講義と自社の利益を増やすためのアイデア出しワークを研修として実施しました。この研修を通じて、社員の方からは「自部門の数字をもっと細かく見ていきたい」「自分達に何ができるかを具体的に考えるきっかけになった」といった意見や、後日社長からは、「社員の意識改革が進み業務効率が大幅に向上した」というお話をお聞きし、社員の方に意欲的に仕事をしてもらうには考えるための材料を数字で提供することが欠かせないし、非常に効果があることを実感させていただきました。

2 診断士の道を歩んだ理由と独立の経緯

診断士の勉強を始めたきっかけは、2社目の繊維専門商社での部署異動でした。当時は経理部門に所属して将来的にも財務・税務の専門性を高めてキャリアを積んでいくつもりでしたが、新設された国内と海外の子会

社の管理と支援を担う部署への異動を機に経営全般に関する知識が学べる診断士の勉強を始めました。

その後、診断士の試験勉強が面白かったことと、途中で諦めたくないという意地で資格を取得。父が紳士服の卸売、妻の実家がネクタイの生地製造業を営んでいた背景もあるなかで、中小企業向けのコンサルティングを行っている諸先輩方の活動を知り、自分も中小企業の支援を人生後半の仕事にしたいという思いが募り、独立に至りました。

診断士になって良かったことは、2つあります。

1つ目は、やりがいのある仕事を見つけて独立したこと。規模の大きな企業の従業員としての仕事はスケールの大きい事業に関わることができて面白い面もありましたが、中小企業の支援は取り組んだことがダイレクトに成果として現れ（もちろん上手くいかない場合もありますが）、お客様にも喜んでいただけるというやりがいがあり、所属している1社に限ることなく、何社でも経験した事例を活かしながら取り組めることが良い点です。

もう1つは、関わる世界が広がったことです。独立前から現在に至るまで診断士の方や様々な形で中小企業の支援に携わっている方々との交流を通じて多くの学びと刺激をいただいています。また、仕事を通じて関わった中小企業が展開している事業に関連することを調べたり、社長の創業や事業承継に至る経緯をお聞きしたりするなかで今まで自分が知らなかった世界や人生に触れることができます。仕事以外では、大阪の吹田商工会議所青年部に入会し、現在は理事も務めています。地域の経営者の方とフラットな立場で意見交換をしたり、地域のイベントにかかわる機会ができたことも、独立していなければ得難い経験だったと思っています。

3 お客様に寄り添ったコンサルティングの姿勢

仕事をするうえで大事にしていることは、お客様の状況に合わせた対応をすること。中小企業と一口に言ってもそれぞれの企業が持つ「ヒト・モノ・カネ」といった経営資源は異なり、社長の財務・会計に関する知識レベルや、勢いのある人・慎重な人など

性格にも差があります。まずは創業や承継に至った背景と事業に対する思い、将来はどんな会社にしていきたいのか？ということヒアリングで確認させていただいたうえで、課題解決のための支援の方法や進めるスピードを設定しています。

財務や会計は聞き慣れない専門用語が多いため、できるだけ分かりやすい言葉に言い換えて理解が深まるような説明をすることも心掛けています。

あとは、どんなに正しい（会社の将来のために必要な）ことでも気分が乗らなければ続かないため、未来に希望がもてる「ポジティブで楽しい」コンサルティングになる雰囲気づくりも大切にしています。

4 将来の展望と目指す「好循環」

長期借入金の本数が多く、返済の負担が重くなっていた企業への関与をきっかけに、少しでも資金繰りを楽にする方法はないか？と思い銀行融資に関する知識を深めています。コロナ禍以降の銀行融資を取り巻く環境が大きく変化している環境下で、関与先の企業の経営管理体制の構築から資金繰り計画を含めた経営計画書の作成・振り返り・改善活動に至る財務を中心とした支援に今後更に力を入れていきたいと考えています。

「グッドループ」という屋号には「好循環」を作り続けるという思いを込めていますので、私と一緒に仕事をする中で、お客様にグッドなループに入っていただけの支援を続けていきたいです。



摂津峡にて愛犬と

判治さんのコンサルティングには、企業の財務状況を徹底的に把握し、そのうえでお客様にとって最適な改善策を共に考え実行するという信念が感じられます。診断士としての専門性と、お客様に寄り添った姿勢が、社員の意識改革や業務効率の向上に大きく貢献している点が特に印象的です。今後の銀行融資に関する支援の強化にも、判治さんの誠実な取り組みが生かされることでしょう。

今回は判治さんにご紹介をいただいた、丸山直明さんにご登場いただきます。お楽しみに！（岡部 佳美）

京の起業家

42

木津川市商工会のご紹介で、「京都最南端のクラフトビール醸造所」こと「ことビール」さまにお話を伺いました！



代表取締役の板東智也さん

事業内容について教えてください。

主な事業内容はクラフトビールの製造と販売です。

京都と奈良、2つの古都の間に位置する京都府南部の山城地域（木津川市内）に醸造所があるので「ことことビール」という社名にしました。

京都市内にはクラフトビールの醸造所がありますが、この辺りにはありませんでした。今でも京都府南部地域では唯一のクラフトビール醸造所です。自分の住んでいる地域でもありますし、何か地域活性化のお役に立てればと思いこの地を選びました。

人が温かく自然が豊かで、クラフトビールを造るにはとても良い環境だと思います。

やはり地元産の原料を使われたりするのでしょうか？

主原料である麦芽やホップは海外製のものに頼っています。徐々に国産のものも増えては来ていますが、まだまだ供給力や品質の面

で安定感に欠けますので。

しかし副原料として地元産の農作物を使用することは多々あります。木津川市はぶどうが有名なので山城ぶどうを使ったクラフトビールや、南山城村のお茶を使ったクラフトビール、隣町の笠置町のコーヒーショップとコラボレーションしてコーヒーのクラフトビールも造ったりしています。最近では京丹波町の梅の加工業者さんからのお声掛けで梅のクラフトビールを造りました。

地元産の果物を使用する際は流通できなかったもの（出荷のピークを過ぎた、熟れすぎたなど）を利用させていただくことが多いです。代わりに、仕込みの際に出る麦芽のカスを農家さんにお譲りして、堆肥として使用してもらっています。同じ地に住む者同士、協力して支え合っていければと思っています。

創業の経緯を教えてください。

私は元々日本酒の酒蔵に十数年勤めていたのですが、コロナ禍の影響もあり会社都合で解散となってしまいました。退職後もお酒業界にかかわり続けたいと思いましたが、日本酒の製造免許を新規取得するのは実質的に不可能という現実がありました。クラフトビールであれば比較的製造免許の認可が取得しやすかったのです。お酒業界に携わりつつ地域活性化も図れるという点で、根強い人気のある「クラフトビール」というところに落ち着きました。

開業に向けて動いていたのがちょうどコロ



醸造所の外観



こだわりの定番商品 4 種



様々な農作物を使った期間限定商品



ラベルはひとつひとつ丁寧に手貼り

ナ禍の真っ只中だったので（2022年開業）、醸造設備が納品されなかったり、資格取得に必要な講座が実施されていなかったりと、大変な時期でした。

商品に対するこだわりは？

弊社のクラフトビールは、食事に合わせて召し上がっていただけるような落ち着いた味に仕上がっています。定番の4商品はもちろん、季節の果物などを使った期間限定商品についてもその点を重視して仕込んでいます。

弊社のクラフトビールを飲んで「おいしい」「このビールが好きです」と言っただけだと、やりがいもあるし「また頑張ろう」という気持ちになります。

味へのこだわりは強く、丁寧に手作業で行う工程が多いです。加熱もガス火で手作業ですし、瓶詰めやラベル貼りも手作業で行っています。手をかけて出荷している分、大手にはない温かさや想いが伝われば良いと思っています。機械化することで味が変わってしまうと、ファンの方々の気持ちに答えられなくなるので、大変でも手間暇かけてやりたいです。それがひとつの売りにもなるかなと考えています。

ラベルに関しても、弊社は機械では対応できない瓶のネック部分に敢えて貼っています。他社は貼っていない位置なので売り場でも目立ちます。ラベルに記載するロットナンバーもひとつひとつ手書きで書き込んでいます。そういった大手にはできない部分も楽しんでいただけると嬉しいです。

木津川市商工会に期待することは？

商工会さんには創業前から大変お世話になっています。商工会さんから今のオーナーさんをご紹介いただいたおかげで、ここに醸造所を立ち上げることができました。ずっと勤め人としてやってきて、自分で起業するなんて思ってもいなかったし、いざ起業するとなっても何から始めたら良いのか分からない

状況の中で、色々とおアドバイスいただいたり相談に乗っていただいたりしたおかげで無事開業に至りました。開業した後も販路や経営について常々アドバイスして下さり、すごく助けてもらっています。今後も引き続きサポートをお願いしたいです。

今後の目標は？

現状は関西中心で販売していますが、販路の拡大を図り、少しずつでもファンを増やしていきたいです。

そのためには製造量も増やす必要がありますので、丁寧な造りは変えずに、タンクの増設などにより製造能力向上を図っていきたいです。味に直接影響しない部分、例えば樽の洗浄などについては機械化も考えていきたいですね。

色々なエリアにことごとくビールが広まっていくのであれば、その分色々な方と繋がっていけると思います。ことごとくビールをきっかけに京都のクラフトビールを知っていただき、京都や奈良、ひいては木津川市に訪れていただけたら嬉しいです。（平澤 夕香）

木津川市商工会 近藤竜太郎様より

「ことごとくビールを合わせると、料理がもっとおいしくなる」といった考えのもと、ファミリー層ではなく高級志向をもつアッパー層にターゲットを絞り販売活動を行ってこられました。その戦略が功を奏し、高級レストランやホテル、高島屋などで評価をいただいている様子です。また、販売先からのご縁でオリジナルクラフトビールの製造依頼も増えてきています。今後、より全国に「ことごとくビール」の魅力を伝えていきたいといった代表者の考えを達成するため、商工会として支援において貢献できたらと考えています。

ことごとくビール株式会社

住所：〒619-0202 京都府木津川市山城町平尾三所塚58番地
URL：https://kotokotobeer.com/
Instagram：@kotokoto_beer
醸造所直売：金～火 パブ開演：土・日 ※変更の場合あり

ねえねえおしえて！ 支援機関さん！

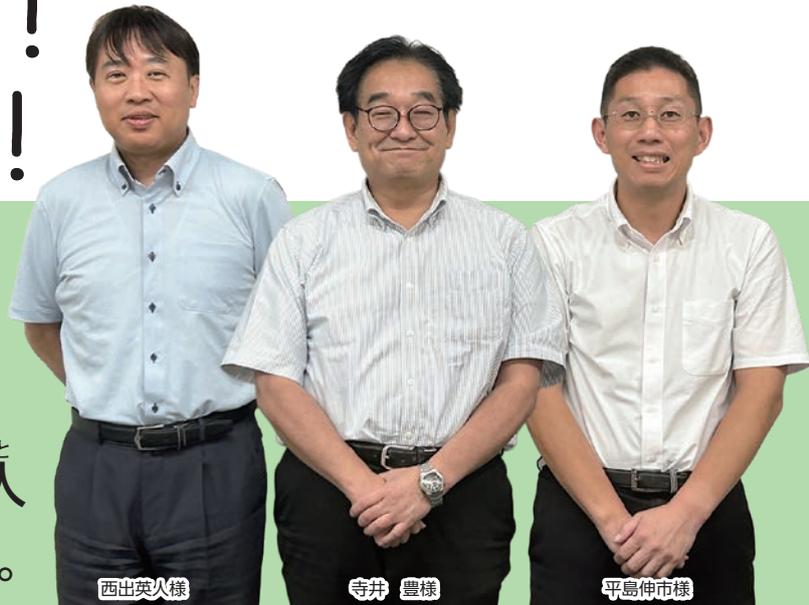
はい、私たちがお答えします。

京田辺市商工会の

事務局長 ^{てらい ゆたか} 寺井 豊

経営支援マネージャー ^{にしで ひでと} 事務局長次長 経営支援員 西出 英人

山城地域BSC ^{ひらしま しんいち} 広域経営支援員 平島 伸市です。



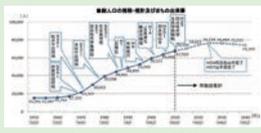
西出英人様

寺井 豊様

平島伸市様

●京田辺市の沿革について教えてください。

昭和26年田辺町・草内村・大住村・三山木村・普賢寺村（1町4村）が合併し田辺町となります。その後、昭和40年代から高度成長期に入り、関西文化学術研究都市の建設や大規模な宅地開発、道路整備、鉄道の電化など、都市基盤の整備が進み関西圏のドーナツ化現象の影響もあり、人口が増加し、平成9年4月1日市制施行により京田辺市となりました。



京田辺市の人口推移
京田辺市 まち・ひと・しごと創生総合戦略から引用

●京田辺市商工会の概要について教えてください。

設立：昭和35年12月6日
(認可昭和36年1月)

会長：鈴木俊寛

副会長：久村浩、上島竜太郎

会員数：約1,200(増員中)

事業内容：経営支援全般、経営改善普及事業(講演・講習会による指導)等
詳細はこちらより<https://x.gd/NgXbf>

沿革	
昭和35年12月16日	京田辺市商工会設立
昭和36年1月5日	認可
昭和48年12月	商工会建設
昭和55年2月	事務局設置
昭和62年5月	総代会設置に移行
平成9年4月	市制施行(京田辺市)
平成9年5月	名称を京田辺市商工会へ
平成10年3月	複合商工会館建設
平成18年4月	広域連絡事業拠点設置

京田辺市商工会沿革

●力を入れていることは？

①広域的な取り組み：山城ビジネスサポートセンター金融・経営一体化型支援事業による支援(京都府、金融機関との連携事業)府内で唯一の拠点型センター



中小企業売り込み隊事業
(京田辺市連携事業)

②関係団体との連携：京田辺市との連携事業として、田辺高校と地元企業との交流や同志社大学内のFabスペース運営事業を実施



昼市・夜市アベニュー

③各部会での活動：商業振興事業、工業振興事業、建設振興事業、青年部対策事業、女性部対策事業、特別事業

●特記すべき事項はありますか？

京田辺市は30年以上人口増加し、京田辺市商工会も会員数増加という京都府の中では稀少な地域です。それゆえ多様なニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。特に創業支援では、新規起業だけでなく、企業に勤務する方の副業支援も含めかなりの需要があります。創業塾(年1回5回シリーズ 終日研修)では定員の19名を超える申込があり、お断りしていることもあります。またこの周辺には企業工場集積地域もあり、企業との連携した取り組みも行われています。

また、地元自治体との連携事業としては、商工会と京田辺市とが協働して、地元の工業課程のある田辺高校と(株)椿本チエイン、ニッタ・デュボン(株)、住江工業(株)などの会員企業との交流をコーディネートしています。田辺高校では、



株式会社椿本チエイン職場体験

企業での職場体験などをインターンシップのプログラムとして、学年ごとに正規の授業として取り入れ、毎年数名の学生が地元企業に就職をしていると成果もでております。

さらに、京田辺市に加え、中小機構とも協働し、同志社大学内にD-egg施設を設置し、地元企業に対して製品開発の支援や研究開発の場としても活用してもらおう取り組みを進めています。

●中小企業診断士の方をお願いしたいこと。

現在京田辺市商工会の支援員は5名であり、通常の商工会の一人当たり担当件数が平均100事業者のところ計算上240事業も担当している状況であり、さらには事業者の多様なニーズに対応していくためには、特に専門性の高いコンサルティング技術をもつ診断士の方のお力添えに大きく期待をしています。

そうしたことから、どなたがどのようなスキル、ノウハウをおもちなのか、どのようなお人柄なのか分かるようにアピールしていただきたいです。ネット上でもリアルでもいいので、分かりやすくご自身の事例や成果を発信していただきたいです。



京田辺市商工会が入る
京田辺市商工会館

(林 勇作)



京田辺市商工会

〒610-0334 京都府京田辺市田辺中央4-3-3

TEL : 0774-62-0093 FAX : 0774-62-3926 <https://kyotanabe.kyoto-fsci.or.jp/>

協会事業活動紹介

京都府中小企業診断協会では、会員が研鑽するための研究会や、会員同士が親睦を深めるためのレクリエーションなどを行っています。それらに加えて、行政機関や各種支援機関などの依頼による収益事業も行っており、さらに、診断協会独自事業も行っています。

京都プロコンカレッジ

今回は、当協会の独自事業である、「京都プロコンカレッジ」をご紹介します。当協会の会員診断士には、企業内で資格を活かして活躍する「企業内診断士」と、独立してプロとして活躍する「独立診断士」の2パターンがあります。京都プロコンカレッジは、独立を考えている企業内診断士の方や、独立して3年目以内の方を対象として平成25年に開校しました。

この京都プロコンカレッジは、毎年6月から8月まで診断・コンサルティング技術を講義し、9月から実際に企業を訪問してコンサルティングを行うコンサル実務を行います。前半の講義では、プロコンとしての行動指針・取組姿勢から、マーケティング、人材育成・組織活性化、財務管理、コンサルの営業手法などのテーマに加え、プレゼンスキル向上にも取り組みます。そして、後半は、コンサル実務として実際のコンサルティングを経験します。

コンサル実務は、単にヒアリングから診断報告書を作成するのではなく、ヒアリングをもとに経営課題を抽出・確認し、それを解決するための指導を行います。実際には複数の受講生でチームを作り、小売業や製造業等の中小企業に訪問し、経営課題を解決するテーマに取り組みます。期間が4～5カ月と限られているため、十分な成果を上げることは難しいですが、過去の実務では、工場の見える化に取り組み、案件ご

との作業時間を定量化する方法を指導し、生産計画作成時に工場の負荷が見えるベースを作りました。また、営業力強化のテーマでは、12の具体的な施策を提示しその実践法も指導しました（時間の関係上すべては指導できませんでしたが）。受講生は、それぞれ持てる力を120%発揮し経営者の方から高い評価も頂いております。

この京都プロコンカレッジは、今年で13年目を迎え、延べ卒業生も100人近くになっています。中小企業診断士は独立する事が目的ではなく、企業内で資格を活かした活動も大きな価値があります。一方で、独立して自身の信念に沿った企業支援を行う、これも診断士として立派な活動です。京都プロコンカレッジは、これからも京都府内の中小企業発展に寄与する、独立診断士を輩出する場として開催していきます。

(事業リーダー：坂田 岳史)



京都プロコンカレッジの講義のシーン

研究会紹介

国際老舗研究会

京都の協会の中で、京都らしい研究会ともいえるのではないのでしょうか？「国際」とついているのも特徴的です。リーダーの林勇作さんにお話をお伺いしました。

所属会員数	14名
活動日・時間	毎月第2水曜日 19時～、 年2回老舗様への訪問あり (第2土曜午後)
設立年月日	2022年7月13日
代表者名	林 勇作
幹事・事務局対応者名	岡原慶高
担当理事	岡原慶高

一どのような研究（活動内容）をされていますか？内容は誰がどんな風に決めていますか？

代表の私が企画運営しています。京都の老舗のご当主・後継者の方をお招きし、企業継続の秘訣をテーマに歴史、現代の危機、その対応、今後の展望などをご講演いただき、その後ご当主と会員間で質疑応答をします。終了後、私の方で講演内容のキーワードを抜き出し質問形式にして、参加された会員にレポートを提出してもらい、それらをまとめて、ご当主、会員全員に共有します。



4代目ご当主、佐々木晃様

一参加している会員や研究会の特徴について教えてください。

参加会員は事業承継・長寿経営に関心をもたれる方が多く、老舗の後継者育成などにも興味をもっています。東京診断協会中央支部の老舗企業研究会（代表 柳 義久様）と連携して、年に3回ずつお互いの研究会をZOOMでつなぎ情報を共有しており、東京の老舗様のお話も聴けて大変有意義です。また、研究会名に「国際」と名付けている通り、海外の老舗とのコラボレーションも視野に入れています。当研究会の企業内診断士と独立診断士の割合は、半々です。大企業の方も多く、老舗企業に勤務の方もおられますし、まさに京都の400年の歴史をもつ老舗、永楽屋伊兵衛様の後継者の方も会員です。

一今後に向けての活動目標方針を教えてください。

日本の老舗の英知を学び、日本の宝としての老舗の学びを、最終的に世界（特にフランスに本部を置く200年以上の世界の老舗が集まるエノキアン協会）とのコラボレーションを行いたいと考えています。

一これまでどんな活動をされましたか？

2年間で24回の研究会を実施しま

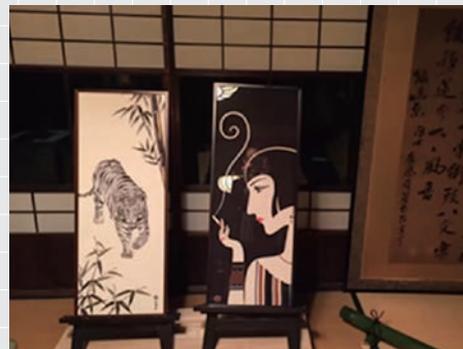


永楽屋伊兵衛様訪問 (2023/9/23)
講演と美術館見学、
第14世ご当主、細辻 伊兵衛様

した。京都の老舗のご当主・後継者17名、東京協会の東京の老舗のご当主の講演を4名ほどお聞きしました。実際に老舗様の店舗に訪問、店舗見学も2回実施しました。その度にレポートを作成、内容量もかなりのものとなっています。

一今年度予定されている研究会活動を教えてください。

今年9月には、香港での視察報告会を初開催、来年3月には宇治の朝日焼の窯元を訪問する予定です。ここでは、16代目当主の話聞きながら、製陶体験も行います。



永楽屋伊兵衛様のオリジナル作品

一改めて、当研究会に入会する魅力はどんなことでしょうか？

都の老舗は、一見さんお断りのイメージがあるかもしれませんが、私は老舗の方々と強いネットワークを築いています。このネットワークを通じて、普段は聞けない老舗の継続の秘訣を学び、交流する機会を提供しています。東京協会との連携や、実際に老舗を訪問する体験も可能です。さらに、世界の老舗とコラボレーションする貴重なチャンスもあります。興味があればぜひ代表の林勇作までご連絡ください。（阪本 純子）

一研究会の設立コンセプトはどのようなものですか？

「老舗に学び、老舗に成る」のコンセプトのもと、皆さんに老舗の知見を共有いただき、クライアントが100年企業になるようご支援できることを目的としています。

診断士なら知っておくべき「経営者の頭の中」、紐解きます。

5 RULES

“ルールが経営を映し出す”

中小企業診断士が大事にすべき経営者は、「人」。
あえてビジネスモデルではなく、「その人のマイルール」
を紐解くことで、独自の経営マインドや生き方に触れる。

京都の“イマ”を創り出す経営者に聞きました。

「あなたのルールは何ですか？」



京都デニム
デザイナー 桑山 豊章 様

19歳の時、父親の入院をきっかけに家業を継ぎ、がむしゃらに働くなかで、京友禅という伝統工芸を広げたいとの思いをもつ。2004年、京都デニムを立ち上げ、京友禅技術を従来の絹以外の素材、デニムに応用する技術確立した。2008年には京都駅東地区に店舗をオープンした。学生や社会人インターンの受け入れもしており、京友禅技術の普及に努めている。2023年「これからの1000年を紡ぐ企業認定」認定。



RULE.1

鈍感力で仕事を楽しむ。

どんな仕事も楽しいし、まったく苦ではない。いつも仕事のことを考えている。19歳で大学を辞めて、家業を手伝い借金返済のために必死で働いた。若くて世間をよく知らず、取引先から怒られることもよくあったが、社会勉強になったので本気で良い経験だと思っている。一般的に傷ついたり気を悪くしたりすることでも、あまり気にしない性格で「鈍感力」といわれることもある。突き抜けた明るさがある。

RULE.2

京友禅の染色技術を守る。

京都デニムを立ち上げたのは、京友禅の染色技術を守りたかったから。伝統の京友禅の絹製品も素晴らしいが、自分は、京友禅の染色技術を使って現代の人が着られる服を作ることによって昔の技術を残していきたくかった。デニムを選んだのは、現代の人が日常的に着用し、長期にわたって使用する自分の目的と一致したため。伝統の染色技術のクオリティも維持しなければならない。安定して作業できるよう早寝早起きをして、体力作りにも余念がない。

RULE.3

工芸にこだわる。

生み出す商品は一見奇抜なものであるが、桑山のアイデンティティの中心には伝統工芸がある。工芸は、美的価値を重視する芸術と異なり、実用性重視の「暮らしの道具」であり、消費者の悩みやニーズに寄り添うことが肝要だと語る。今の商品に息づく伝統工芸の技法やデザインも、古くから使う人に寄り添い、先人たちが築いてきた賜物。工芸を軸としたものづくり、それを実現する体制が今の京都デニムを支えるドライバーだと言える。

RULE.4

顧客の声とともに成長していく。

現在の主力商品は、いずれも多くのお客様にごひいきにいただき続けた商品。インバウンド客でにぎわう京都の外資系ホテルからの引き合いもあり、顧客は海外、特にアジアにも広がってきている。Instagramのフォロワーの3分の2は海外の方で、インドネシアやシンガポールからはメッセージも（たまには現地語で）入ってくる。元気な彼らに励まされ、彼らに商品を直接届けるべく、海外展開も構想している。

RULE.5 伝統工芸普及のために産業化を目指す。

現在の自社製造販売は通過点に過ぎず、「京都デニム」には創業当初から描く大構想がある。職人が手描京友禅で染めたデニム生地を「京都デニム」として量産し、卸すことで、グッズメーカーやアパレル事業者がさまざまなアイテムを製造販売する。「京都デニム」が世界中で流通し、実用品として日常に定着する。それにより、工芸品の実用性、機能性の理解が進み、伝統工芸が現代に適した新たなカタチで普及。さらに職人の雇用が拡大することで、技術が次世代へと引き継がれていく。この構想実現にはさまざまな障害があるが、地道な活動で無邪気に夢を追う。



(楽集会：内藤 朗人・池田 瞬介・松浦 由加子・松延 健吾)

去る8月24日（土）に京都経済センターにて、今年度第1回となる理論政策更新研修を開催しました。第1部では、協会会員でわらべ経営事務所・所長の河邊星太郎さんに「中小企業の事業承継支援 ～診断士の支援ポイント～」と題して講義いただきました。冒頭、事業承継とは何かについて説明の後、事業承継支援では何から始めればよいか。診断士ならではの支援ポイントについて自身の経験に基づいたア



河邊さん

ドバイスをいただきました。

第2部では、京都府商工労働観光部長の上林秀行様に「新しい中小企業政策について ～未来を拓く京都産業の実現に向けて～」と題し、講演いただきました。講演では、各種経済指標から京都経済について分析、大阪・関西万博や府市連携などのトピックスについてもお話いただきました。さらに、未来の京都産業に向けたスタートアップやオープンイノベーション支援の取



上林さん



風景

り組み、海外展開や人材育成における京都府の支援メニュー等についてもご紹介いただきました。

会場では、100名を超える方々が熱心に耳を傾けていました。今年度はあと2回、令和6年10月19日、令和7年2月22日にも更新研修を開催する予定ですので、是非ともご参加ください。（谷口 真）

京都協会 バーベキュー大会開催

令和6年7月28日（日）に「バーベキューコート339」にて、京都府中小企業診断士協会のバーベキュー大会が開催されました。

会員同士やご家族が親睦を深めることを目的とするこの会は今年で2回目となります。今回は18組23名の方にご参加いただき、気温36度を超える猛暑の中でも屋根付きの会場のため、少し涼しくお肉などを堪能できました。

松尾理事のご挨拶、白井さんの乾杯の音頭でスタートしました。

お肉は牛タンやカルビ、ロース、ホ



賀長常任理事によるご挨拶

ルモンなど種類が盛りだくさんで飽きずにたくさん食べられました。鉄板焼きは松尾理事が振る舞ってくださり、アヒージョも焼きそばも美味しかったです。飯盒で炊いたお米は甘くてお肉やキムチとの相性が最高でした！

スイカ割り子どもたちが挑戦し、周りのサッカーチームの子どもたちもギャラリーとして盛り上げてくれました。小さいスイカは1回で割れてかっこよかったです！大きいスイカはなかなか割れませんが、皆で協力し合って声掛けしながら割れたので楽し



大盛り上がりのスイカ割り

かったですね！最後に締めのご挨拶を賀長常任理事にいただき、会は終了となりました。

美味しいお肉やお酒もあり普段お話できない方とも親睦が深まったのではないのでしょうか。また同様の企画で交流を深めたいと考えておりますので、その際はぜひご参加いただけたらと思います。

ご準備してくださった会員サポート部の皆様、ご参加してくださった皆様ありがとうございました。

（山口 莉乃）



皆で記念撮影

はんなり診断士



おかの ゆうぞう
岡野 祐三

はじめまして、2021年4月に診断士登録をしました岡野と申します。

23年間勤めたオムロンで早期退職の募集があり、プロのコンサルタントとして独立したい、という漠然とした考えをもっていた私は、転職先も独立準備も決まっていななか、思い切って早期退職を決断しました。その後、2024年度の京都プロコンカレッジの存在を知り、これはチャンスだと考え、

2024年7月に診断協会に加入し、プロコンカレッジの受講を申し込みました。

2016年から4年間、労働組合の執行委員として、現場の意見を経営層に伝え、経営層の想いを現場に伝える役割を果たしました。さまざまな部門の意見を収集するために幅広い知識が求められ、経営層と議論するために経営を勉強しました。ここで学んだことを形に残したいと考え、中小企業診断士の資格を取得しました。

オムロンでは、電子部品の商品開発や新商品のマーケティングを担当しました。また、退職前には商品責任者として、産業機械向けコンポーネントの商品戦略の立案と実行に携わりました。商品ライフサイクルの最初から最後まで、国内外問わず営業や生産メンバーと協力してプロジェクトを進めたことが私にとって大きな財産です。

現在はプロコンカレッジと並行して、キャリアコンサルタント資格取得に向けた勉強をしています。京都府診断協会の研究会を通じて刺激を受け、自己研鑽に励んでいます。

診断協会の皆様、交流の程、よろしくお願いいたします。



くすみ けんじ
楠見 賢二
あすなび経営
合同会社 代表

皆様はじめまして。2021年に診断士登録、2024年4月に京都協会に入会させていただきました楠見と申します。高槻生まれ、高槻在住です。趣味はラグビー観戦、アメフト観戦です。お好きな方は是非お声がけください。

前職では、大手翻訳会社に営業として入社し、なんやかんやで運よく上場企業の取締役役に就任。その後は、海外への特許出

願を代行する子会社の創業から経営全般に携わってきました。具体的には、事業計画作成、人材募集・採用、評価制度の構築、海外調達先との交渉、営業教育などです。子会社の代表として中小企業の運営の大変さは身をもって体験して参りました。

前職での最後の17年間は東京での単身赴任生活で、3人の子どもの成人を機に、今年の6月に、長年勤めた翻訳会社グループの子会社代表を退任し、7月にあすなび経営合同会社を起業いたしました。

妻には、「子育てがひと段落した時期に戻ってきやがって」と嫌味を言われておりますが、17年ぶりに高槻の自宅に戻れて少し気分が高まっております。

大学時代は京都で過ごしたものの、東京での生活が長かったため、身も心もはんなり感は醸成されていませんが、これから京都協会で色々な研究会に参加させていただき、出来るだけ早く一人前のはんなり診断士になれるように尽力して参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



たかはし こうじ
高橋 幸司
株式会社東洋

はじめまして。2024年5月に中小企業診断士として登録しました高橋と申します。京都の診断士先生の方々のご縁をいただき、同年6月に京都協会に入会いたしました。

私はDX、IT、情報セキュリティを専門分野としております。

大学卒業後、25年以上にわたりIT業界でキャリアを積んできました。ネットワークエンジニアとしてのキャリアをスタートさせ、数多くの中小企業に対しネットワークやサーバーの設計・構築を行い、その後はセキュリティエンジニアとして、様々な事業者に対するセキュリティ対策を担当しました。さらに、クラウドエンジニアとしてAWSの設計・構築、DevOps環境の構築、SaaSインテグレーションなどを手がけてきました。現在はこれらのスキルを活かし、ITコンサルティングやセキュリティ監査に従事しております。

また、ITCA (ITコーディネータ協会) およびITコーディネータ京都の理事として、企業のDX推進を支援する活動も行っております。今後も地域社会に貢献できる診断士を目指し、日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

My favorite

診断士のお気に入り

西陣麦酒醸造所「柚子無碍」(ゆうずうむげ)

山村 恵子

今回ご紹介するのは、西陣麦酒醸造所のクラフトビール「柚子無碍」。一口飲むとまず柚子の香りがふわっと広がり、そのあとガツンと麦芽やホップの苦みが来ます。

普段宅飲みはあまりしない私ですが、一仕事終えた時に、自宅でもったりしたい時に楽しみ



ます。アウトドアでグイグイ飲むのも美味しいのですが、私は肉料理やスパイシーな料理と共に、個性的な味を楽しみます。

西陣麦酒は、フルーティで口当たりの良いビールからマニアック

なものまで、個性豊かなビールを製造・販売。少量から造れるクラフトビールだからこそのビールの色々な在り方に挑戦されています。

運営母体は社会福祉法人菊鉾会ヒーローズ。自閉症等の障害者が地域で役割をもって働く就労支援場所として醸造所を立上げられました。

福祉を身近に、でも製品自体がお洒落で素敵なものを。西陣麦酒から生まれる至福の一杯で色々な人の色々な幸せ「WELL-BEERING」を実現したい。そんな思いから、大学や地域住民、生産者と共同プロジェクトもされています。応援したくなるストーリーがあるのも魅力ですね。

次回は、三野直樹さんお願いします。

京都の診断士だったら
知っておきたい基礎問題にチャレンジ!!



本事業は
京都検定を応援しています

Q 京都の世界遺産の中で、特別名勝・特別史跡の庭園がある寺院は金閣寺、銀閣寺ともう一つある。三宝院庭園があるその寺院はどこか。
(『第10回京都検定 問題と解説』(京都新聞出版センター刊) 3級76問より一部抜粋)

- A** (ア) 高山寺 (イ) 東寺
(ウ) 醍醐寺 (エ) 仁和寺

表紙の写真と連動した問題をセレクトしてお届けします。

編集後記

秋も深まりつつありますが、今この編集後記に筆を取っているのは、台風10号がまもなく関西に上陸しようとしているタイミングです。南海トラフ地震の可能性が叫ばれる中で、甚大な被害による事業継続性が問われるようなときこそ、困っている中小企業の皆様にお悩みに応えられる存在としてそばにいたいですね。ともあれ、まずは自分の安全を第一! いろいろなリスクに対して、万全の備えをしてこそ診断士! (松田)

(ウ) 醍醐寺 解説: 真言醍醐派総本山。山号は深雪山。山の上醍醐、山下の下醍醐からなる。世界遺産(文化遺産)。西国三十三所観音霊場第十一番札所。貞観16年(874)、聖宝(理源大師)が醍醐山の上に草庵を結び、准后・如意輪の両観音像を彫刻し、堂宇に祀ったのを始まりとする。
(『新版 京都・観光文化検定試験 公式テキストブック』(京都商工会議所編 淡交社刊) より引用。問題文を一部改変しております)